

街頭演説

07年10月

一日本共産党庄原市議会議員 藤木くにあき

ご町内のみなさん、おはようございます。こちらは、日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。この場をお借りしまして、日本共産党の、お訴えをさせていただきます。大変お騒がせいたしますが、しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

さて、みなさん。参議院選挙で、自民党が大敗し、安倍首相が政権を投げ出し、福田内閣が成立しました。選挙結果は、貧困と格差を広げ、憲法を変えようとした、自民党・公明党政治に、国民が「ノー」の審判をつきつけたことによるものです。参議院は、野党が多数となり、国民の声が政治を動かす、新しい時代が始まりました。

福田首相は所信表明演説で、「希望と安心の国づくり」を訴えました。しかし、みなさん。規制緩和で不安定雇用を増やし、若者から希望を奪い、社会保障の切り捨てで、お年寄りから、安心を奪ったのが、小泉内閣の、官房長官をつとめた、福田首相自身だったのではないのでしょうか。日本共産党は、国民いじめの自公政治にストップをかけ、国民中心の、新しい政治をつくるため、みなさんと力を合わせ、全力をつくしてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

ところで、みなさん。来年4月から、お年寄りの医療が、大幅に改悪されるのをご存知でしょうか。自民党・公明党が、昨年強行採決した、制度改正によるものです。

第一は、75歳以上を対象にした、「後期高齢者医療制度」という、新しい医療保険を始めることです。75歳以上の、お年寄り全員が、加入を義務づけられ、いま、子どもの扶養家族になっていて、保険料を払っていない、約2百万人の方も、保険料の支払いが義務づけられます。保険料は11月に決まる予定ですが、月平均6千2百円、年間7万4千円という試算があります。しかも、2年ごとに、保険料が改定され、医療費が増えれば、保険料も値上がりするしくみになっています。そして、65歳以上の国保加入者と、75歳以上のお年寄りは、保険料が、年金から天引きされることとなります。さらに、保険料が払えない、75歳以上の人の保険証を取り上げるといふ、大問題があります。

2つ目に、70歳から74歳までのお年寄りは、医療費の窓口負担が、現在の1割から、2割に増えることです。ご町内のみなさん。年をとれば色々な病気が出てきます。そんな高齢者に、負担を強いるというのが、自民党・公明党政治のやり方です。日本共産党は来年4月からの、実施の中止と、制度そのものの撤回、改善を求めて、とりくんでまいります。今こそ、みんなで、大きな声を、上げていこうではありませんか。

さて、みなさん。医療費の負担の軽減や、年金の充実を訴えると、政府は、必ず、「財源がない」、と開き直り、消費税の値上げの議論に入ります。しかし、89年に消費税が導入されて以来、私たちが、納めた消費税の総額は、約百88兆円。同じ期間に、法人税の減税は、約百60兆円です。私たちが、納めた消費税の大部分は、大企業の減税の、穴埋めになっていて、福祉や医療に使われているわけでは、決してありません。資本金10億円以上の大企業は、今、史上空前の大儲けを上げています。ところが、国に払う税金は、減税の連続で、かつての、3割も少なくなっています。「大企業は儲けに応じた税金の負担を」、この、当然の声を、大きく、つよく、していこうではありませんか。

もう一つは、ムダ使いをやめることです。「聖域」扱いで、税金が、デタラメに使われているのが、軍事費です。例えば戦車や軍艦。ソ連に備えるという理由で、計画しましたが、ソ連が崩壊して、必要なくなったのに、造り続けて、1兆円ものムダ使いです。米軍の再編に3兆円。在日米軍への、「思いやり予算」、というのもあります。

ご町内のみなさん。大企業に、応分の負担を求め、軍事費のムダ使いに、しっかりとメスを入れれば、医療や年金など、社会保障の財源をまかなうことは、十分可能です。消費税増税の必要は、まったくありません。この道こそが、参議院選挙で「ノー」の審判を下した、自民党・公明党政治に代わる、新しい、政治の方向ではないでしょうか。日本共産党は、その実現へ、みなさんと力を合わせ、全力をつくしてまいります。

そのためにも、新しい政治の進路を指し示す、「しんぶん赤旗」のご購読と、日本共産党への、大きなご支援を、心から、お願いいたします。お訴えとさせていただきます。ご静聴いただき誠にありがとうございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。